



“歯の黄ばみ”で悩んでいませんか？

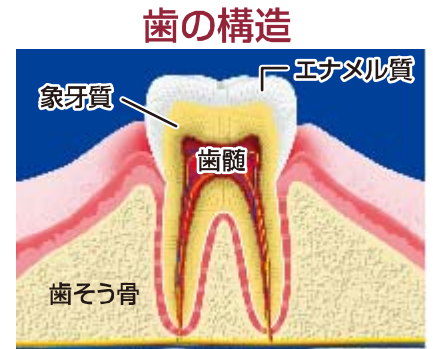
「いつまでも“白い歯”のままでいたい」と思いますが、やはりそうはいかず、歯の色は年齢とともにだんだん黄ばんでいってしまいます。

歯が黄ばんでしまう原因

歯が黄ばんでいく原因の1つは“**加齢**”です。歯の一番表面を覆っている「**エナメル質**」は、年齢とともに次第に薄くなっていきます。すると、その下にある黄色い色をした「**象牙質**」が透けて見えるようになるため、歯の色が黄色くなくなってしまいます。



また、もう1つの原因として挙げられるのが、コーヒー・紅茶・日本茶・ウーロン茶・コーラ・赤ワインなどの飲み物や、ラズベリー・ブルーベリー・ブドウ・カレーなど、**色の濃い食べ物の着色成分が歯に付き、それがエナメル質に染み込んでしまう**ことです。そのほか、「**タバコのヤニ**」も黄ばみのもとになるのはご承知のとおりでしょう。



また、神経を抜いた歯の色が悪くなるのは、歯の象牙質にまで栄養が行き届かなくなってしまうためで、このように“**歯の内側**”から起こる場合もあります。また、子どもの頃に“**テトラサイクリン系の抗生物質**”を服用した影響で歯が黄ばむこともあったりします。

歯の黄ばみを解消する方法

食べ物や飲み物の着色汚れが歯の表面に染み込む前なら、それは歯についた汚れなので、日ごろの歯みがきで予防ができます。今は“**ステイン(着色汚れ)除去効果のある歯みがき剤**”が販売されていますので、そういったものを使ってみるのもよいでしょう。

また、歯科医院では“**特殊な清掃器具**”を使って歯を綺麗に磨くこともできますので、エナメル質に染み込む前の汚れであれば、スッキリ綺麗に落とすことができます。

もし、エナメル質の中にまで染み込んだ着色汚れの場合は、上のような専門器具や歯みがきで清掃を行っても黄ばみは落とせませんので、こういった場合は“**ホワイトニング**”という歯を白くする方法もあります。

このホワイトニングとは、**ホワイトニング剤**を歯につけて歯の色を脱色していく方法です。

ホワイトニング剤の成分は“**過酸化水素・過酸化尿素**”で、もともと口の中の消毒用として使われていたものですから、安心・安全に歯を白くすることができます。

このように、現代は歯を白くする様々な方法がありますので、「歯の黄ばみ」でお悩みの方は一度ご相談下さい。

